

2012年12月8日

関係者 各位

高野文化圏研究会

森本一彦

拝啓

師走の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび高野文化圏研究会において別紙の通り、2012年12月22日(土)にシンポジウム「生活文化の再発見に向けて―伊都の歴史・民俗・文化」を開催することとなりました。お時間が許すようでしたらご参加いただきましたら幸いです。

なお、チラシを同封いたしますので、ご掲示いただくとともに、ご関心のある方に広報いただきますようお願いいたします。

お忙しいところ、恐れ入りますが、よろしくお願い申し上げます。

敬具

連絡先 〒606-8501

京都市左京区吉田本町

京都大学大学院文学研究科 森本研究室

Tel : 075-753-2473 E-mail : econan@pk.highway.ne.jp

URL:<http://koyabunkaken.blogspot.jp/>

シンポジウム

生活文化の再発見に向けて

—伊都の歴史・民俗・文化—



日 時 12月22日(土) 13:00~17:00

会 場 高野町中央公民館2F第1会議室

和歌山県伊都郡高野山486番地 TEL:0736(56)2076

参加無料・事前申込不要

プログラム

13:00~13:10 趣旨説明

13:10~13:40 森本一彦(京都大学)

地縁社会と生活遺産

13:40~14:10 島津良子(奈良女子大学)

‘まち’としての高野山上と高野地域

—高野町史(近代)の仕事を通じて—

14:10~14:40 加藤幸治(東北学院大学)

茶粥とは何でしょう?

—高野町史の食文化調査から—

〈休 憩〉

15:00~15:10 藤吉圭二(高野山大学)

コメント—学生の町という視点から—

15:10~17:00 ディスカッション

〈会場設営〉

17:30~

懇親会(※会費制、希望者は森本あてメールにて連絡をしてください。)



南海高野線難波駅→極楽橋駅
→ケーブルカー高野山駅→
南海りんかんバス苺萱堂下車
徒歩5分

主 催 高野文化圏研究会

共 催 高野町史編纂室、高野山大学

京都大学大学院文学研究科グローバルCOE「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」

後 援 かつらぎ町教育委員会、九度山町教育委員会、橋本市教育委員会

連絡先 〒606-8501

京都市左京区吉田本町

京都大学大学院文学研究科 森本研究室

Tel:075-753-2473 E-mail:econan@pk.highway.ne.jp

URL:http://koyabunkaken.blogspot.jp/